

こしがや能楽堂開館三十周年

こしがや能

第三十一回

秋の調べ

令和五年十一月三日(金・祝)

開場 十二時三十分 開演 十三時

会場 越谷市日本文化伝承の館

こしがや能楽堂

※雨天決行(荒天時は中止する)
(場合があります)

おはなし 関根祥丸

舞囃子 花 関根知孝

狂言 泣 尼 野村太一郎

能 鶴 亀 高梨良一

写真撮影 前島吉裕

料金

一般 3,000円 学生 1,500円 (全席自由席・消費税込)

能楽堂友の会会員 10%割引 ※未就学児童の入場はできません

お問い合わせ こしがや能楽堂 ☎048-964-8700

チケット発売場所 こしがや能楽堂 ☎048-964-8700
越谷コミュニティセンター(サンシティホール) ☎048-985-1112

- ◆東武スカイツリーライン 越谷駅東口 北側ロータリーより
花田循環又は市立図書館行きバスの「花田苑入口」下車徒歩3分
- ◆東武スカイツリーライン 新越谷駅/JR武蔵野線 南越谷駅 北口より
花田行き又は市立図書館行きバスの「花田苑入口」下車徒歩3分
- ◆前売券は250枚販売。当日券の販売あり。(当日券は天候により販売を中止する場合があります。)
- ◆チケットをお持ちの方は、公演当日、日本庭園「花田苑」(午前9時～午後3時)に無料で入園できます。
- ◆駐車場には限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共の交通機関をご利用ください。
- ◆会場内での食事はできません。※お席での水分補給可
- ◆能楽堂の「能舞台」及び「観覧席の一部」は屋外の施設となりますので、防寒及び暑さ対策にご留意ください。



主催：公益財団法人越谷市施設管理公社 共催：越谷市教育委員会 後援：越谷市

こしがや能
第三十二回

秋の調べ

令和五年
十一月三日(金・祝)
開場 十二時三十分 開演 十三時

おはなし 関根 祥丸

【仕舞】

西王母

由田 久子

敦盛

近藤 豊

春日龍神

関根 祥丸

【舞囃子】

花

筐 関根 知孝

大鼓 佃 良太郎
小鼓 森澤 勇司

笛 一噌 隆之

地謡 木月 章行
坂井 音隆

坂井 音雅
津田 和忠
野村 昌司

泣 尼

シテ(僧) 野村太一郎

〔休憩〕

【能】

鶴 亀

ツレ(鶴) 古橋 美香
ツレ(亀) 渡邊 洋子
シテ(皇帝) 高梨 良一

森常好改メ
ワキ(大臣) 宝生 常三

大鼓 佃 良太郎
小鼓 森澤 勇司
太鼓 小寺真佐人
笛 一噌 隆之

間(官人) 飯田 豪

後見 関根 知孝
関根 祥丸

地謡 由田 久子
坂井 音雅
近藤 豊
坂井 音隆
坂井 音晴
岡庭 祥大
津田 和忠
野村 昌司

(終了予定時間 十五時三十分)

演目紹介

狂言「泣尼」

ある男から説法を頼まれた僧。自分が修行不足で説法が退屈なことを知っている僧は、説法を引き立たせるため、お布施の半分を渡す約束で、何を聞いてもよく泣くという尼と一緒に来るよう頼みます。しかし、いざ説法を始めると、尼は泣くどころか居眠りを始めてしまいます。説法が終わると尼は布施を要求しますが…。

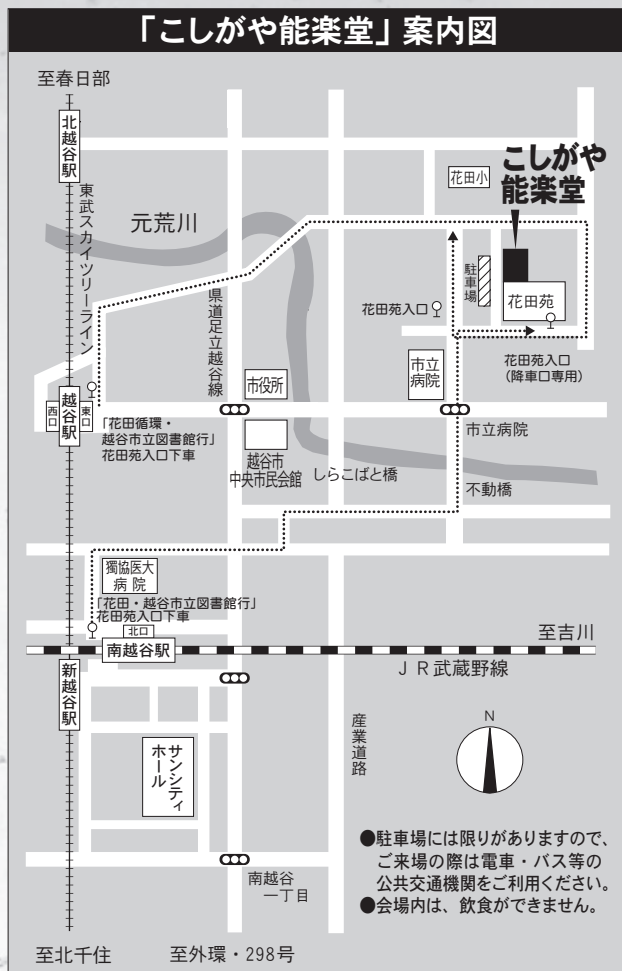
能「鶴亀」

つるかめ

玄宗皇帝により月宮殿(月にある宮殿を模した皇帝の宮殿)で初春の儀式が行われることになり、殿上人は皆宮殿に参上するよう役人が触れて回ります。皇帝が太陽と月の光を礼拝し、万民は天に響く祝賀の声を上げます。

宮殿の庭は金銀珠玉に満ちて美しいことこの上ない様子。そこへ宮殿の池に住む鶴と亀が現われ、例年通り皇帝の長寿と太平の世を喜び、千年の長寿を授けながら舞を舞います。鶴と亀の舞に興じて気分の乗ってきた皇帝もみずから舞を舞います。やがて舞い終えた皇帝は、長生殿へと帰って行きました。

「こしがや能楽堂」案内図



●駐車場には限りがありますので、ご来場の際は電車・バス等の公共交通機関をご利用ください。
●会場内は、飲食ができません。